



新年を迎える喜びを感じながら

12月31日、忍城址鐘楼^{しんじょう}付近で毎年恒例のイベント「行田ゆるくる年」が行われました。

除夜の鐘を突いて新年を迎えようと、家族連れやカップルなど大勢の方が忍城址を訪れ、今回も鐘楼の前には長蛇の列ができていました。いよいよ鐘を突く順番が来ると、誰もが新年を迎えることができる喜びを感じながらうれしそうな表情を浮かべ、思い思いに鐘を鳴らしていました。

新たな門出を祝して

1月13日、産業文化会館で「平成25年行田市新成人を祝う会」が行われました。

大人として新たな門出を祝福するために開催されたこの催しに、晴れ着姿の新成人671人が参加。会場では、旧友と久しぶりに再会したり、中学時代の様子が収められたスライドが上映されたりすると、あちこちから歓声が沸き起こりました。その喜び溢れる姿から、これからの社会を担っていくために必要な、はつらつとした力がみなぎっている感じが取りました。



いつまでも生き生きと

12月19日、「みらい」文化ホールで浮城シニアクラブ連合会主催「第1回いきいき芸能発表大会」が、約380人の参加のもと開催されました。

この催しは、同連合会に所属している各クラブの活動を幅広い年代に見てもらうとともに、ふれあいの輪を広め、生きがいをさらに高めることを目的としたもの。ステージ上でカラオケ、民謡、舞踊、ダンスなどを披露する出演者は、充実したセカンドライフを送っているようでした。

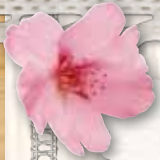
思い出に残る貴重な体験

1月12日、中央公民館で第27回少年少女将棋大会が開催され、市内の小・中学生86人が個人戦および団体戦に分かれて、熱戦を繰り広げました。

当日は特別ゲストとして、棋士の加藤一二三^{ひふみ}九段と本市出身の矢内理絵^{ひな}子女流四段が参加し、子供たちの手に汗握る対局を見守っていました。

また、矢内さんとの多面指しや加藤さんによる決勝戦の対局解説も行われるなど、参加した子供たちは思い出に残る体験をしていました。





大盛況の「ぎょうだ“夢”まつり」

12月23日、古代蓮の里で「2012ぎょうだ“夢”まつり～食と農・環境と光のページェント～」が開催されました。

この催しは、B級グルメ大会、農業祭、軽トラ市、環境フェスタを同時開催したもので、約25,000人が訪れました。また、ゼリーフライ王者を決める「ゼリーフライ選抜総選挙」や古代蓮の里イルミネーション点灯式も行われるなど、1日を通して楽しむことのできる多種多様なイベントに、来場者は大いに満足していました。



忍城おもてなし甲冑隊が白河市長を表敬訪問

1月18日、忍城おもてなし甲冑隊の成田長親、甲斐姫、柴崎和泉守が、鈴木白河市長を表敬訪問しました。

白河市の名所や旧跡をはじめ、本市との歴史的なつながりや、映画「のぼうの城」の話題などで大いに盛り上がりました。今後も、本市と白河市は相互に交流を深めていくことでしょう。



2013年の幕開け

1月1日、古代蓮会館で「2013年～タワーからご来光～『初日の出』」が行われ、展望室から初日の出を一目見ようと、早朝から大勢の方が訪れました。

雲の切れ間から太陽が顔を出すと、歓声を上げる観客たち。デジタルカメラやスマートフォンで記念撮影をしたり、新たな年の幸せを願ったりと、家族や友人らと輝かしい新年の幕開けを迎えていました。



さらなる安心・安全な行田へ

1月12日、産業文化会館、市役所前および水城公園で「平成25年行田市消防出初式」が行われました。

この催しは、安心・安全な行田を担う消防職団員の結束をさらに強くすることを目的としたもの。消防職団員の服装規律点検や一斉放水訓練をはじめ、恒例となった鳶組合によるはしご演技などを一目見ようと、多くの観客が会場を訪れました。この式が、市民の皆さんの防火防災意識をさらに高めるきっかけとなったことでしょう。